

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ガボン共和国月報(2024年9月)

2024年9月号
在ガボン日本国大使館

1. 内政・外交

- 4日、中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)に参加するため北京を訪れたオリギンゲマ暫定大統領は、習近平国家主席と首脳会談を行った。「包括的な戦略的協力パートナーシップの枠組みの中でより明るい未来を創造する」ために、二国間関係を深化させていく意思を確認した(5日付UN)。
- 11日から14日にかけて、チャーチル・エウンベ・モノ駐カメルーンAU大使をヘッドとするAU平和・安全保障理事会の代表団が、民政移管プロセスの進捗状況を評価するためガボンを訪問し、オリギンゲマ暫定大統領と面会した。代表団は暫定政府による経済、社会、インフラ、政治、安全保障の各分野での取り組みを評価し、憲法秩序のある国家としての再建に向けて段階的に進捗していると評価した(16日付UN)。
- 26日、オリギンゲマ暫定大統領は、ニューヨークで開催された第79回国連総会において一般討論演説を行い、発展を支援するための資金供給を呼びかけた。昨年の政変後の進展、環境保護への取り組み、国際金融システムの改革を通じた開発途上国への投資促進の必要性を強調した。(27日付ガボン官報)。

2. 経済

- 3日、ジル・ネンベ鉱物資源大臣は、第2回ガボン・中国経済フォーラムに出席し、中国民間セクターのガボンに対する43億米ドル以上の出資を定めた協定を締結した。「新たな経済パートナーシップ」というテーマのもと、同フォーラムには、1000人以上のガボン及び中国の事業者やビジネスリーダーが集結した(4日付GR)。

出典:ガボン官報、ガボン・レビュー(GR)、ユニオン(UN)

(了)